ONKYO®

INTEC
COMPONENT WORLD

FMステレオ／AMチューナー

T-405TX
取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

目　次

特長

■ ハイクォリティ単品設計

■ プリセット30局メモリー

■ オートプリセットメモリー機能

■ ウィークリープログラムタイマー

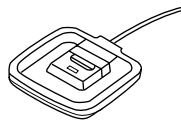
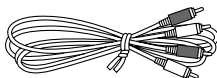
付属品

■ ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。

（　）内の数字は数量を表わしています。

●オーディオ用ピンコード（1）

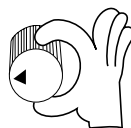
●FM室内アンテナ（1）

●AM室内アンテナ(1)

●RIケーブル（1）

●取扱説明書（本書1）

●保証書（1）

♪音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセント
から抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

- 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

- 本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
次の点に気を付けてご使用ください。
  - 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
  - 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
  - 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での
使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔から金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、機器の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 電源コンセントにはオーディオ機器以外接続しない

● 本機の電源コンセントはオーディオ機器専用です。表示された定格以内でご使用ください。表示された定格以上の機器やヘヤードライヤー・電気こたつなどの電熱器具、オーブン・レンジなどの調理器具は絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

● 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

● 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

● 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビ等の機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。
  磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

● 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

● 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

● アンテナ工事には、経験と技術が必要ですので、販売店にご相談ください。

● 屋外アンテナは送電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

● シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

● 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

各部の名称

📖表示は詳しい説明のあるページです。

■前面パネル

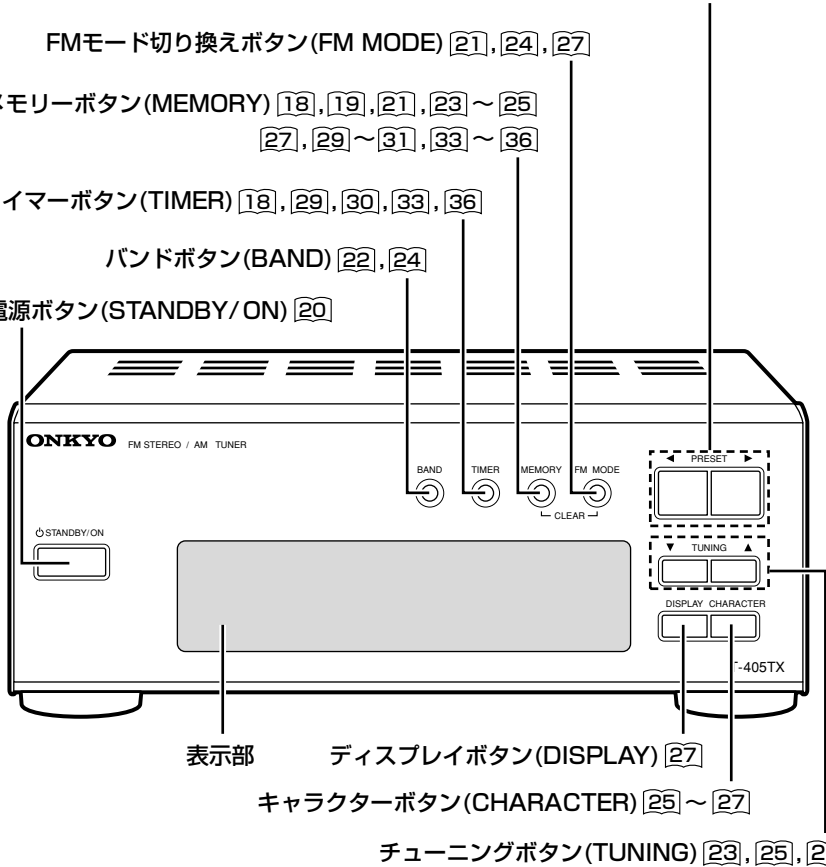
プリセットボタン(PRESET) 19, 23～26, 29, 31, 34～36

FMモード切り換えボタン(FM MODE) 21, 24, 27

メモリーボタン(MEMORY) 18, 19, 21, 23～25, 27, 29～31, 33～36

タイマーボタン(TIMER) 18, 29, 30, 33, 36

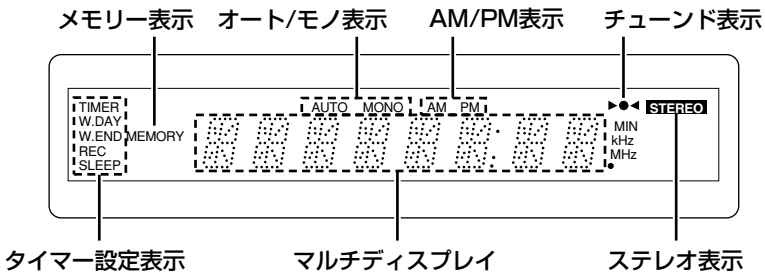
バンドボタン(BAND) 22, 24

電源ボタン(STANDBY/ON) 20

表示部

ディスプレイボタン(DISPLAY) 27

キャラクターボタン(CHARACTER) 25～27

チューニングボタン(TUNING) 23, 25, 26

■表示部

■リモコン

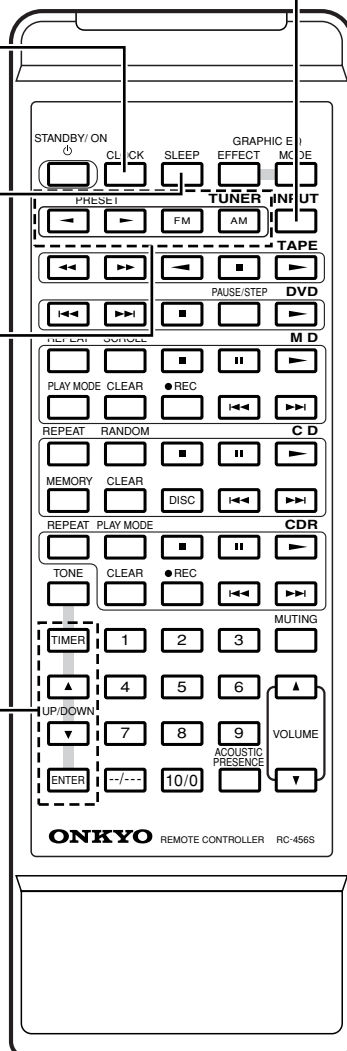
A-905TXに付属のリモコンで時刻合わせやタイマー設定を操作することができます。
本機には、このリモコンは付属していません。

入力切り換えボタン(INPUT)
聞くソースを選ぶときに押します。

クロックボタン(CLOCK) [39]
現在の時刻を表示します。

スリープボタン(SLEEP) [37]
スリープタイムを設定します。

チューナー操作ボタン
PRESET◀/▶: プリセットされた放送局を選びます。[24]
FM　：FM放送を選びます。[24]
AM　：AM放送を選びます。[24]

タイマー設定ボタン
TIMER　：タイマーの設定モードを切り換えます。
[18],[29],[30],[33],[36]
UP/DOWN▲/▼：TIMERボタンで選択した項目の設定内容を選びます。
[19],[29],[31],[34]～[36]
ENTER　：TIMERボタンや ▲/▼ボタンで選択した内容を確定します。
[18],[19],[29]～[31],[33]～[36]

接続

■INTEC205シリーズのA-905TX(アンプ)、C-705TX(CDプレーヤー)、MD-105TX(MDレコーダー)と接続する場合

システム接続のしかた
(INTEC205シリーズの接続)

→ A-905TXの取扱説明書をご覧ください。

INTEC205シリーズの組み合わせでご使用になると、次のシステム機能を使うことができます。

オートパワーオン
本機の電源を入れると、アンプの電源が自動的に入ります。また、本機を使用しないときは、本機のみ電源を切ることができます。

ご注意

A-905TX(アンプ)の主電源スイッチ(POWER)が切(■OFF)になっていたり、各機器の接続が正しくないとオートパワーオン機能は動作しません。オートパワーオン機能を働かせる場合は、A-905TXの主電源スイッチが入(▃ON)になっていること、各機器が正しく接続されていることを確認してください。

ダイレクトチェンジ
本機のプリセット◀/▶ボタン(PRESET)、バンドボタン(BAND)を押すと、アンプの入力がチューナー(TUNER)に切り換わります。

リモコン操作
A-905TXに付属のリモコンで本機を操作することができます。

→ 詳しくはA-905TXの取扱説明書をご覧ください。

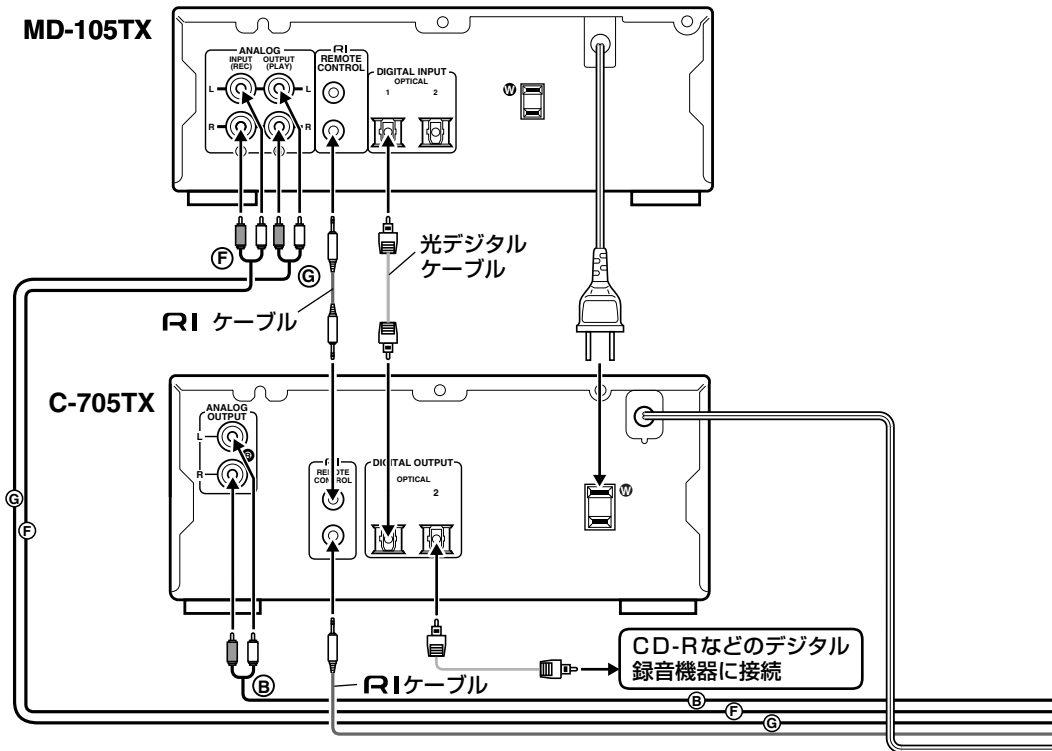
タイマー操作
本機のタイマー時間を設定し、タイマー演奏やタイマー録音ができます。

→ 詳しくは本取扱説明書の28〜38ページをご覧ください。

ご注意

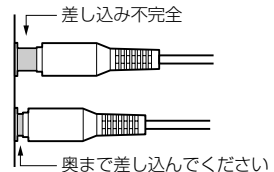
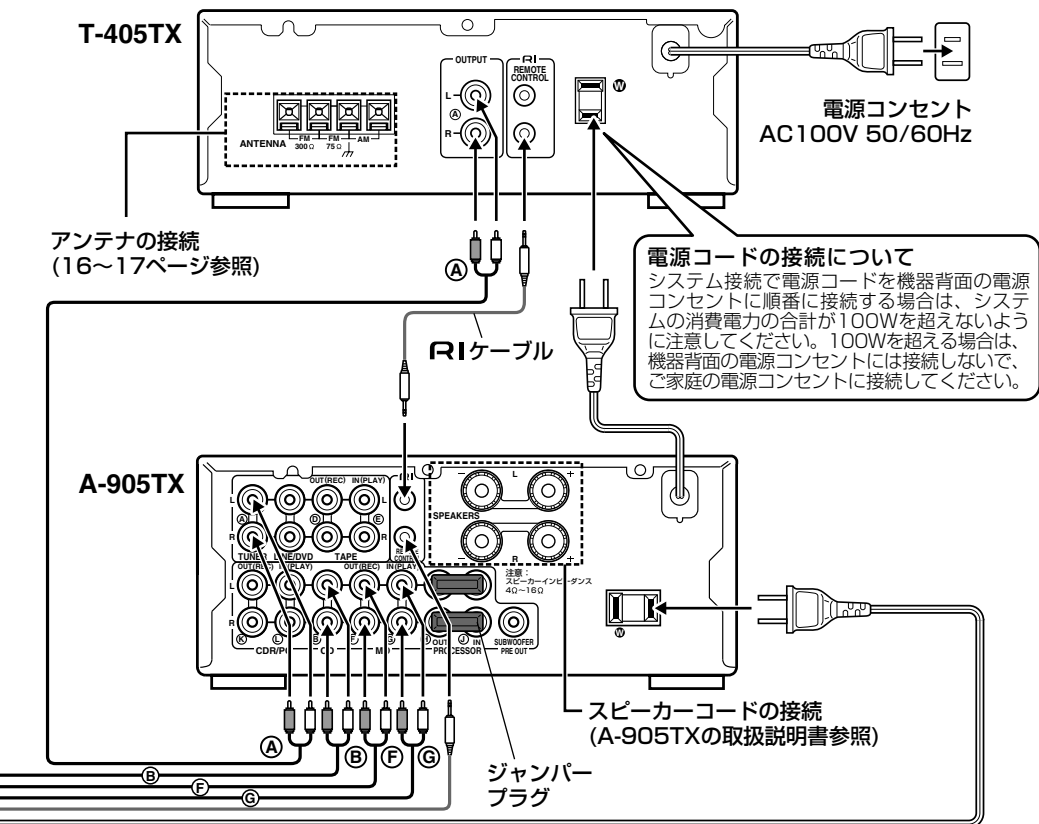
- 接続がまちがっていると各機能は働きません。A-905TXの取扱説明書の接続の項を参照しながら、正しく、確実に接続してください。
- システム機能については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

■本機のタイマー機能を使用する場合のシステム接続のしかた

INTEC205シリーズのA-905TX、C-705TX、MD-105TXと接続する場合

ご注意

- **すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。**
- 各機器に付属のオーディオ用ピンコード（赤、白プラグ付きピンコード）を使用し、赤いプラグは（R）側に、白いプラグは（L）側に接続します。また、各機器の端子に印刷されている記号（Ⓐと Ⓐ、ⒷとⒷなど）を合わせて接続します。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因となります。
- オーディオ用光デジタルケーブルを使用するときは、折り曲げたり、きつく巻いたりしないでください。
- オーディオ用ピンコードは、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねますと、音質低下の原因となります。

- 各機器に付属のRIケーブルで、RIリモコン端子の接続を確実に行なってください。接続がされていませんとシステムとしての操作をすることができません。

● 上記以外の接続についてはA-905TXの取扱説明書をご覧ください。

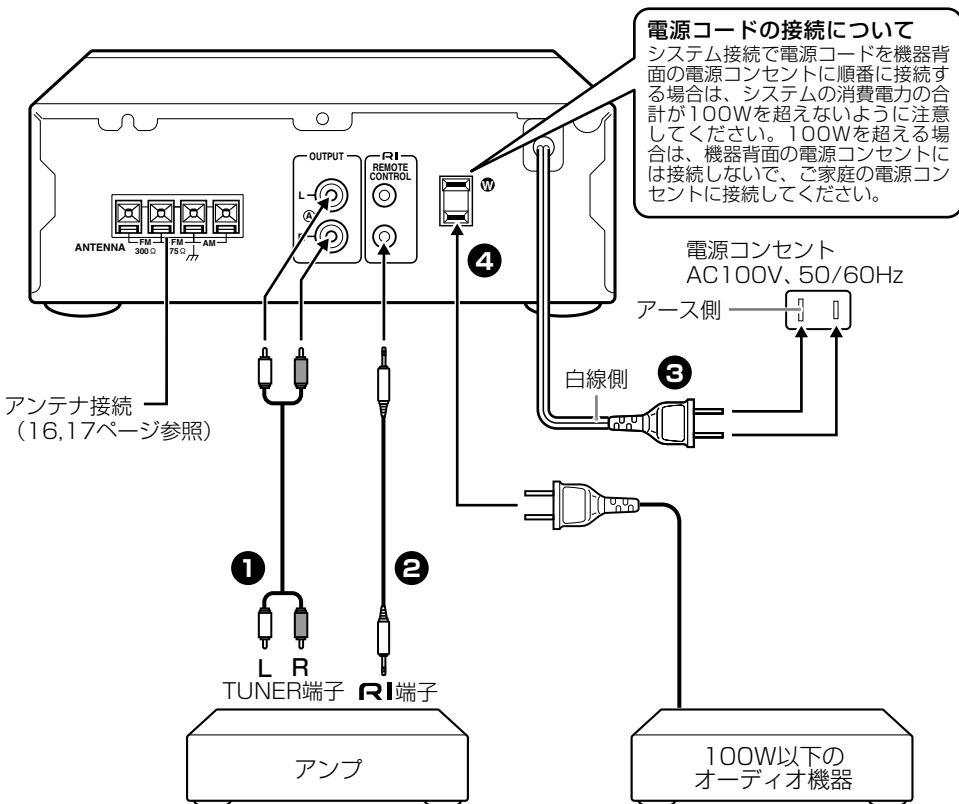
本機をA-905TXとシステム接続する場合のご注意

本機の時計やプログラムタイマー機能をご使用になる場合は、本機の電源コードは必ず常時通電しているコンセントに接続してください。
A-905TXの背面に付いている電源コンセントに接続した場合は、A-905TXの主電源スイッチ(POWER)を切らないでください。
主電源スイッチ(POWER)を切ると、時計やプログラムタイマー機能の設定は、すべて取り消されますのでご注意ください。

■他の機器と接続する場合

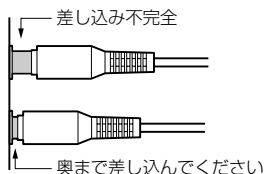
すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

電源コードの接続について
システム接続で電源コードを機器背面の電源コンセントに順番に接続する場合は、システムの消費電力の合計が100Wを超えないように注意してください。100Wを超える場合は、機器背面の電源コンセントには接続しないで、ご家庭の電源コンセントに接続してください。

ANTENNA FM 300Ω FM 75Ω AM
OUTPUT L R
RI REMOTE CONTROL
電源コンセント
AC100V、50/60Hz
アース側
白線側
アンテナ接続
（16,17ページ参照）
❶ ❷ ❸ ❹
L R
TUNER端子 RI端子
アンプ
100W以下の
オーディオ機器

❶ アンプとの接続

アンプのTUNER端子に本機を接続してください。

- 付属のオーディオ用ピンコード（赤、白プラグ付きピンコード）を使用し、赤いプラグは（R）側に、白いプラグは（L）側に接続します。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因となります。
- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねると、音質低下の原因となります。

❷RIケーブルの接続

RI端子付きオンキヨー製品と、本機に付属のRIケーブルを使って、RI端子どうしを接続してください。

- RI端子は、RI端子付きオンキヨー製品と組み合わせた場合のみ使用できます。RI端子付きオンキヨー製品以外とは接続しないでください。故障の原因となります。
- RI端子の上下2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

❸ 本機の電源コンセントについて

オーディオ機器の電源プラグを差し込むことができます。

ご注意

本機のスイッチ非連動コンセント（容量合計100W以下）は常時通電しています。**容量を越える機器は絶対に接続しないでください。**

- 溝の長いほう（Ⓦマーク側）が、電源コードの白線側と同じ極性となっています。

❹電源コードをつなぐ

電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの片側に白線の入っている側を、家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて、差し込んでください。

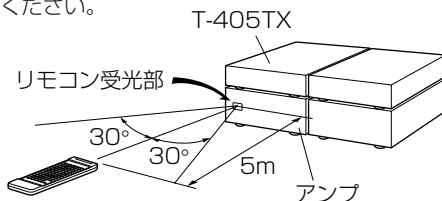
■リモコンについて

本機にリモコンは付属していませんが、INTEC205シリーズのA-905TX（アンプ）に付属のリモコン（RC-456S）で本機を操作することができます。（10ページをご覧ください。）

RI端子の接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとリモコンを操作することができません。

リモコンをアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因になります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

■室内アンテナの接続

付属のFM、AM室内アンテナをつなぐ

FM室内アンテナ

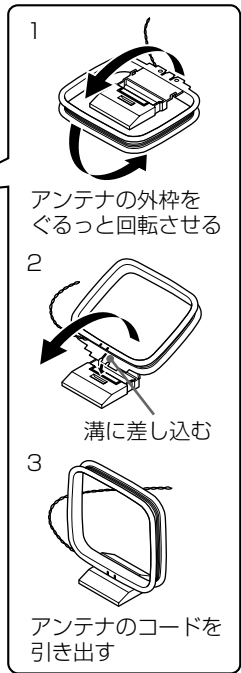
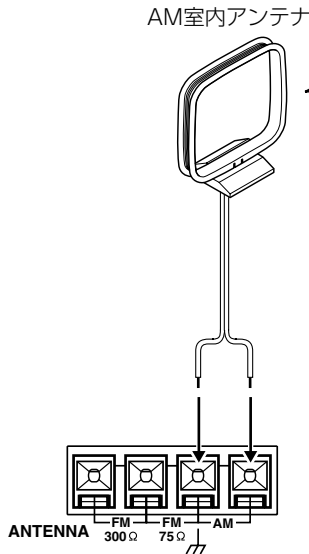
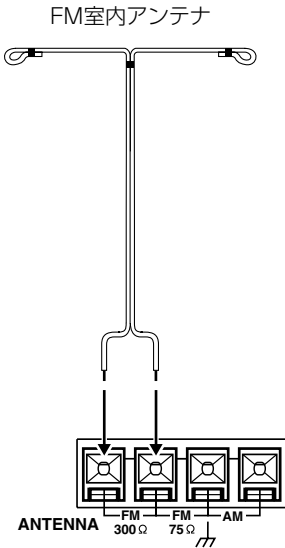
ANTENNA FM 300Ω FM 75Ω AM

AM室内アンテナ

ANTENNA FM 300Ω FM 75Ω AM

1 アンテナの外枠をぐるっと回転させる

2 溝に差し込む

3 アンテナのコードを引き出す

アンテナコードのつなぎかた

3. レバーを閉める

AM室内アンテナについて

良好な受信状態になるように設置場所を変えたり、左右に回して調整してください。

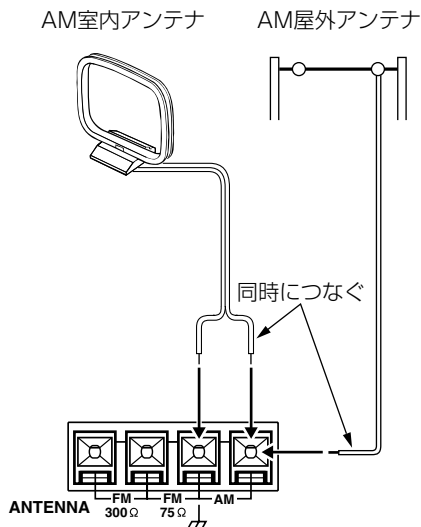
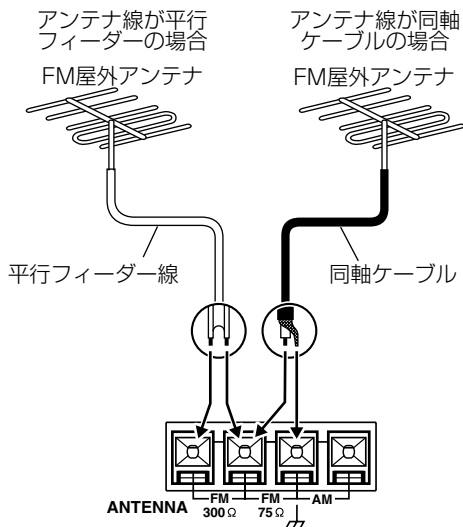
雑音の原因になりますので、AM室内アンテナは本機、パソコン、テレビ、接続コードからできるだけ離して設置してください。

FM室内アンテナについて

電波の強い地域では、付属のFM室内アンテナで放送を聞くことができます。放送を聞きながらひずみや雑音の最も少ない位置にT字型に固定してください。

室内アンテナで安定した受信ができないときは、屋外アンテナを設置して接続してください。

■屋外アンテナの接続

FM、AM屋外アンテナをつなぐ

AM屋外アンテナについて

鉄筋住宅などでAM室内アンテナだけでは受信状態が悪いときは、5m以上のビニール被覆線を窓ぎわや屋外にはってください。

AM屋外アンテナを接続するときも、必ずAM室内アンテナを接続しておいてください。

FM屋外アンテナについて

アンテナ線の種類に応じて、上図のように接続します。

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

⚠ 送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

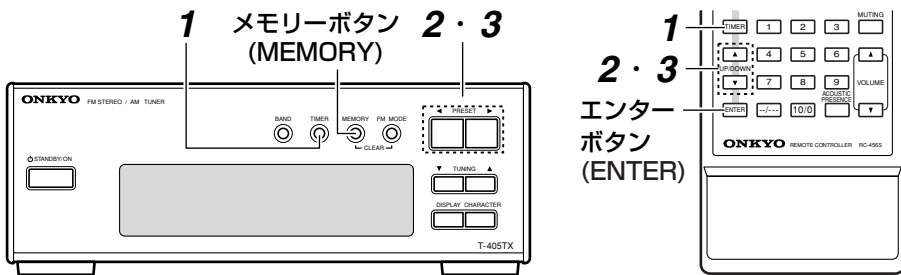
現在時刻と曜日を合わせる

■時刻合わせをするには

INTEC205シリーズのA-905TXと組み合わせた場合、A-905TXに付属のリモコンを使って操作をすることもできます。

- 電源プラグを差し込むと、ディスプレイに“−−：−−”が表示されます。
- 電源の入／切に関係なく本機やリモコンで時刻を合わせることができます。
- 本書では24時間表示での設定方法を説明していますが、12時間表示に切り換えることもできます。

ご注意

- 時計を合わせたあとで停電があったり、電源コードをコンセントから抜いた場合は、“−−：−−”が表示されます。この時は再度時刻を合わせてください。
- 時計機能をご使用になる場合は、必ず本機の電源コードを常時通電している電源コンセントに接続してください。

システム接続している場合は、A-905TX(アンプ)の主電源スイッチ(POWER)が入っていることを確認してください。

リモコンのボタンは　　　で表示しています。

ご注意

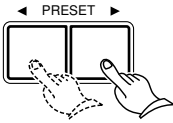
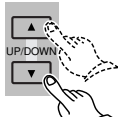
リモコンはA-905TXの主電源スイッチ（POWER）が入っていないと使用できません。

“ADJUST”を選ぶ

タイマーボタン（TIMER）をくり返し押して、“ADJUST”を選びます。

- “ADJUST”表示のときにメモリーボタン（MEMORY）または、リモコンのエンターボタン（ENTER）を押してください。
- タイマーボタンを押したあと約8秒間何もしないでいると、元の表示に戻ります。

本機ではプリセット◀／▶ボタン（PRESET）、チューニング▼／▲ボタン（TUNING）のどちらのボタンでも合わせることができます。

2

◀ PRESET ▶

UP/DOWN

本機　リモコン

SUN　0:00

MEMORY　ENTER

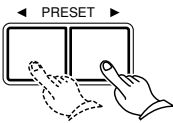
曜日を合わせる

プリセット◀／▶ボタン(PRESET)または、リモコンのアップ▲/ダウン▼ボタン(UP/DOWN)を押すと曜日が切り換わります。

- 希望の曜日(日曜日の場合はSUN)が点滅しているときに、メモリーボタン(MEMORY)または、リモコンのエンターボタン(ENTER)を押します。

曜日の表示は下記の通りです。

SUN	：	日	THU	：	木
MON	：	月	FRI	：	金
TUE	：	火	SAT	：	土
WED	：	水			

3

SUN　9:38

時計を合わせる

プリセット◀／▶ボタンまたは、リモコンのアップ▲/ダウン▼ボタンで時刻を入力します。

4

時計をスタートさせる

時報などに合わせて、メモリーボタンまたは、リモコンのエンターボタンを押してください。

9:38 ― 点滅（時計がスタートします。）

24時間表示/12時間表示を切り換えるには

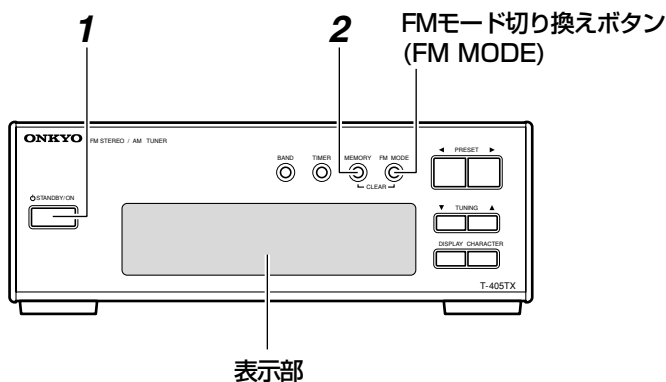
1. リモコンまたは本機のタイマーボタン（TIMER）をくり返し押す。
   - 表示部に“24H/12H”が表示されます。
2. リモコンのエンターボタン（ENTER）または本機のメモリーボタン（MEMORY）を押す。
3. リモコンのアップ▲/ダウン▼ボタンまたは本機のプリセット◀／▶ボタンで24H（24時間表示）または12H（12時間表示）を選ぶ。
4. リモコンのエンターボタン（ENTER）または本機のメモリーボタン（MEMORY）を押し、決定する。

放送を聞く

放送局を記憶させるには、次の 2 通りの方法があります。
- 受信可能な放送局を続けて受信し、自動的に記憶させる（オートプリセットメモリー）。
- 希望の放送局を受信し、希望のプリセットナンバーに記憶させる（プリセットメモリー）。

ご注意

- 記憶させることのできる放送局はFM/AM順不同に30局です。30局を越えると、"FULL"表示になり、それ以上は記憶できません。
- AM放送局を受信中にリモコンを操作すると、雑音が入ることがあります。
- 電源コードを抜いたり停電状態が24時間以上続くと、プリセットされていた放送局やキャラクターなどは消えることがあります。その場合は、再度プリセットしてください。

■自動的に放送局を記憶させる（オートプリセットメモリー）

システム接続している場合は、A-905TX(アンプ)の主電源スイッチ(POWER)が入っていることを確認してください。

電源を入れる

電源ボタン(STANDBY/ON)を押します。
- 電源ボタンを押すと表示部が点灯します。

2

押し続ける

オートプリセットメモリーを始める

“AUTO”が点滅し、周波数表示が出て放送局を探し始めるまでメモリーボタン(MEMORY)を押し続けます。

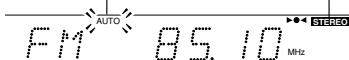
- FMの最初からAMの最後まで自動的に受信局を記憶していきます。
- プリセットナンバーは周波数の低い順に、FMでは最大20局、AMでは最大10局まで放送局を記憶します。

ご注意

- 今までに記憶させたすべての放送局は、オートプリセットメモリーで記憶させた放送局に変更されます。
- FMの受信周波数範囲は76.00〜108.00MHzですが、オートプリセットメモリーは76.00〜90.00MHzの間しか行われません。

■FMモードの切り換えについて

FM MODE

“AUTO”表示　ステレオ点灯

FMステレオ放送をオートモードで受信する場合は、FMモード切り換えボタン(FM MODE)を押し、“AUTO”表示を点灯させます。

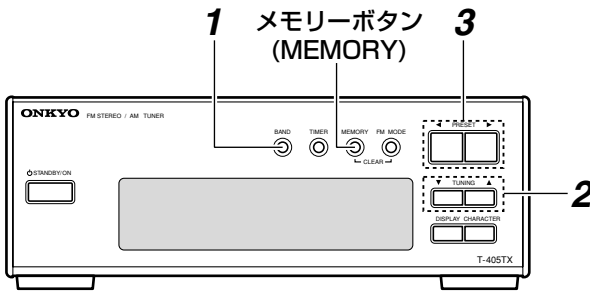
- オートモードでFMステレオ放送を受信すると、“STEREO”の表示が点灯します。

ヒント

- 電波の弱い所や雑音の多い所では、“STEREO”表示は点灯しません。
  “STEREO”表示が点滅している場合はもう一度FMモード切り換えボタンを押して、“MONO”表示に切り換えてモノラル受信してください。雑音や音切れを軽減することができます。
- 受信状態の悪い場合は、室内アンテナの方向を変えたり、または窓際などの電波の強い場所へ移動してみてください。それでも改善されない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。

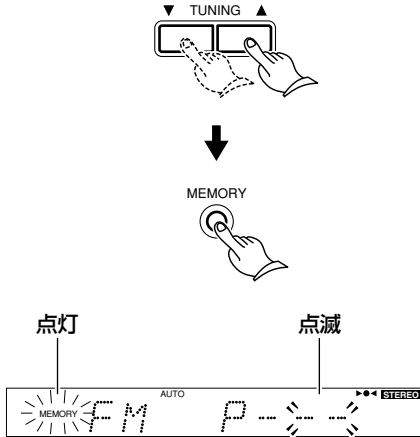
■希望の放送局を受信し、記憶させる（プリセットメモリー）

ご注意

- メモリーボタン（MEMORY）を長く押し続けると“AUTO”点滅表示となり、さらに押し続けるとメモリーされたプリセット局がすべて消去されるオートプリセット動作に入りますので、ご注意ください。
- メモリーボタンを押したあとに約8秒間何もしないと、元の周波数表示に戻ります。（メモリー表示消灯）

受信バンド（FM/AM）を選ぶ

バンドボタン（BAND）を押すたびに、FM/AMが切り換わります。

- 希望の受信バンドを表示させてください。

2

放送局(周波数)を選び、記憶させる

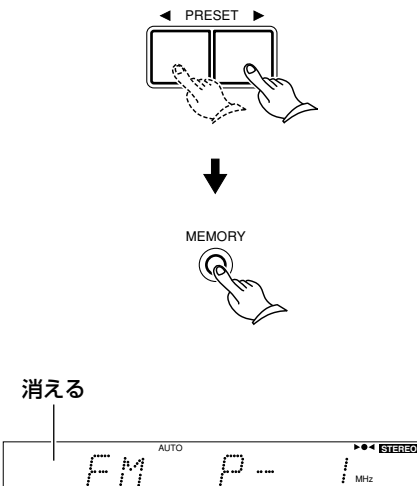
チューニング▼／▲ボタン(TUNING)を押して希望の放送局を受信します。

- ボタンを押し続けるとオートチューニングが働き、手を離してもチューニングを続け、放送局を受信すると自動的に止まり、チューンド表示が点灯します。
- 本機はテレビの1～3chの音声を受信することができます。オートチューニングでは止まりませんので、チューニング▼／▲ボタンで選局してください。

  テレビの音声周波数
  1ch: 95.75MHz、2ch:101.75MHz、3ch: 107.75MHz

メモリーボタン(MEMORY)を押して記憶させます。

- “MEMORY”表示が点灯します。

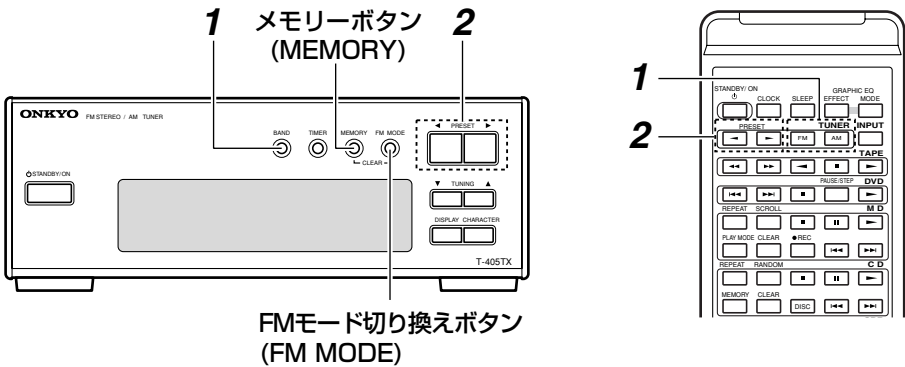
3

プリセットナンバーを選び､記憶させる

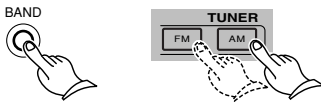
プリセット◀／▶ボタン(PRESET)を押して“-- --”に希望のプリセットナンバーを表示させます。

- メモリーボタンを押すと“MEMORY”表示が消え、手順2で選んだ放送局が記憶されます。

- 次の放送局をメモリーするには、手順2、3をくり返します。
- すでにプリセットされているナンバーは、表示の点滅が早くなります。このとき、あらたにプリセットすると元の放送局は消去されます。

放送を聞く

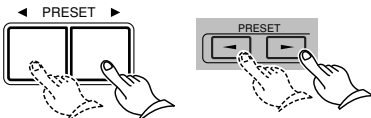
■プリセットした放送局を聞く

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

本機　　リモコン

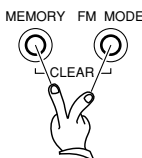
受信バンド（FM/AM）を選ぶ

バンドボタン（BAND）を押すたびに、FM/AMが切り換わります。

- 希望の受信バンドを表示させてください。

2

聞きたいプリセット局の番号を選ぶ

プリセット◀／▶ボタン(PRESET)を押して希望の放送局を受信してください。

■プリセットした放送局を消す

- 上記「プリセットした放送局を聞く」の方法にしたがって、消したい放送局を選びます。
- メモリーボタン(MEMORY)を押しながら、FMモード切り換えボタン(FM MODE)を押します。
  プリセット局表示が “P– – –” になり、消去されます。

キャラクターを入れる

■キャラクターを登録する

プリセットメモリーした放送局ごとの愛称を好みのキャラクターを使って8文字まで表示することができます。

- キャラクターの種類は次の通りです。

␣ A B C D E F G H I J K L
M N O P Q R S T U V W X Y
Z " & ' ( ) * + , - 、/ = ? [\
] I 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

␣ はスペースを意味します。

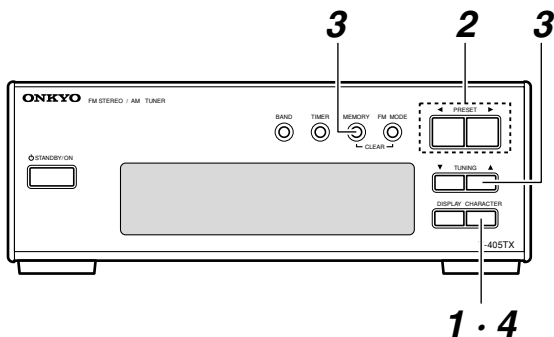
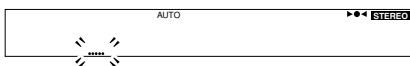
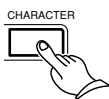
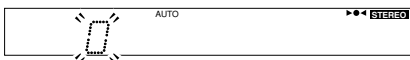
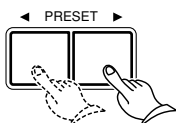
1 CHARACTER

AUTO STEREO

キャラクターモードにする

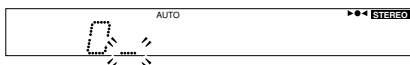
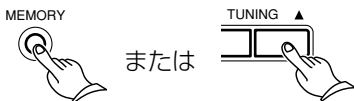
希望のプリセット局を受信し、キャラクターボタン（CHARACTER）を押します。

2 ◀ PRESET ▶

AUTO STEREO

キャラクターを選ぶ

プリセット◀／▶ボタン(PRESET)を押してキャラクターの種類を選びます。

3 MEMORY または TUNING ▲

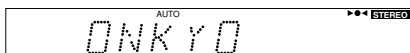
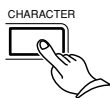
AUTO STEREO

キャラクターを記憶させる

メモリーボタン(MEMORY)または、チューニング▲ボタン(TUNING)を押して記憶させます。

- 手順2、3をくり返して合計8文字まで記憶させることができます。

ヒント 空白にしたいときは、空白のままでメモリーボタンを押してください。

4 CHARACTER

AUTO STEREO
ONKYO

登録する

キャラクターボタンを押します。

キャラクターを入れる

■キャラクターを変更する

1

CHARACTER

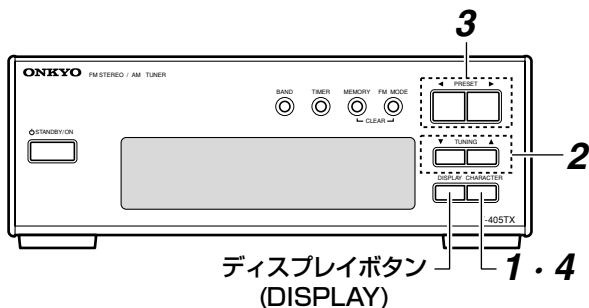
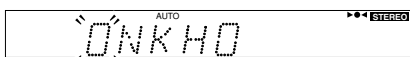
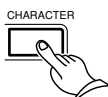
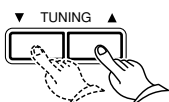
AUTO STEREO
ONKHO

キャラクターモードにする

希望のプリセット局を受信し、キャラクターボタン（CHARACTER）を押します。

2

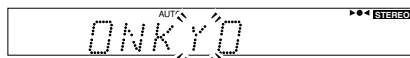
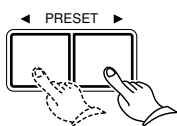
▼ TUNING ▲

AUTO STEREO
ONKHO

変更するキャラクターを選ぶ

チューニング▼／▲ボタン（TUNING）で変更したい箇所まで点滅を移動させます。

3

◀ PRESET ▶

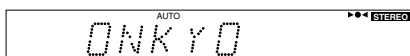
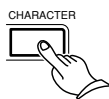
AUTO STEREO
ONKYO

キャラクターの種類を選ぶ

プリセット◀／▶ボタン（PRESET）を押して希望のキャラクターを選びます。

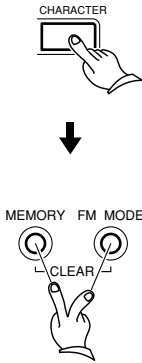
- 他に変更したいキャラクターがあるときは、手順2、3をくり返します。

4

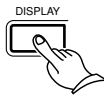
CHARACTER

AUTO STEREO
ONKYO

変更登録する

変更が終わったら、キャラクターボタンを押します。

キャラクターを消すには

キャラクターボタン（CHARACTER）を押します。

- メモリーボタン（MEMORY）を押しながら、FMモード切り換えボタン（FM MODE）を押してください。表示されていたキャラクターが全て消えます。

表示を切り換えるには

時刻合わせやキャラクター入力をしていれば、ディスプレイボタン（DISPLAY）を押すごとに

周波数→キャラクター→時計

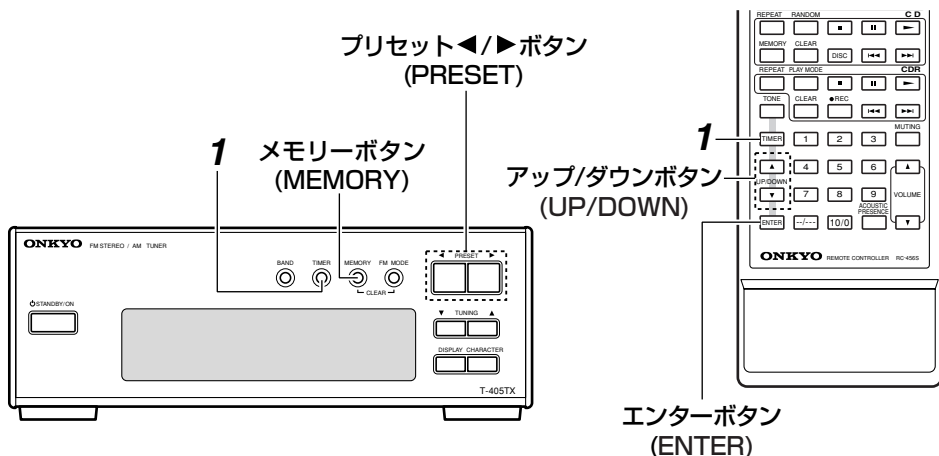
の順に切り換わります。

プリセットした放送局を聞くときは、キャラクター表示の方を優先して表示します。キャラクターを登録していないときは、放送局（周波数）の表示となります。

タイマー演奏と録音（システム操作）

INTEC205シリーズのA-905TXと組み合わせた場合、A-905TXに付属のリモコンを使って操作することもできます。

ご注意

- タイマー演奏中または録音中は、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 時計が“－－：－－”を表示している場合は、タイマー演奏やタイマー録音はできません。必ず時刻を合わせてください。現在時刻の設定については 18、19 ページをご覧ください。
- システム接続を確実に行なってください。接続が不完全ですと、タイマー演奏やタイマー録音はできません。

■タイマーのモードについて

WEEKDAY：ウィークデイ（月〜金曜日）のタイマー演奏時刻を設定します。

- 曜日は、DAY SETで変更できます。（次ページをご覧ください）

WEEKEND：ウィークエンド（土曜日と日曜日）のタイマー演奏時刻を設定します。

- 曜日は、DAY SETで変更できます。（次ページをご覧ください）
- ウィークデイとウィークエンドは同じ曜日を設定することもできます。一日に二つのプログラムを設定する場合は、WEEKDAYとWEEKENDを同じ曜日に設定してそれぞれの時刻なども設定してください。

REC：NEXT、曜日、EVERYDAYの設定ができます。EVERYDAY以外は、設定した時刻に一度だけタイマー録音を行います。毎日同じ時間に録音したい場合は、EVERYDAYを選びます。

DAY SET：タイマー演奏の曜日を設定します。

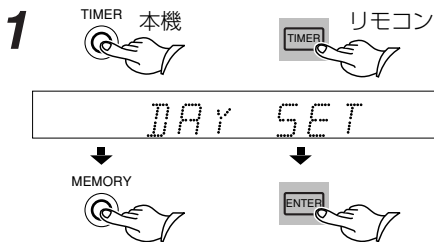
ADJUST：現在時刻と曜日を設定します。すでに合わせている場合は、設定する必要はありません。

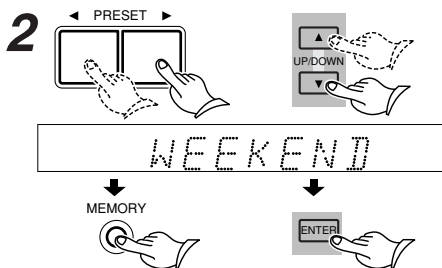
■タイマー演奏をする曜日を選ぶ

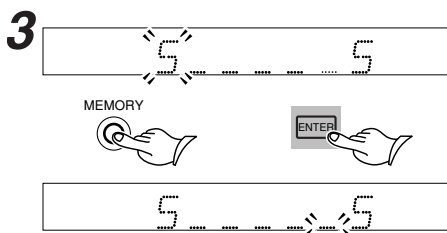
お好みの曜日に演奏をお楽しみになれます。

システム接続している場合は、A-905TX(アンプ)の主電源スイッチ(POWER)が入っていることを確認してください。

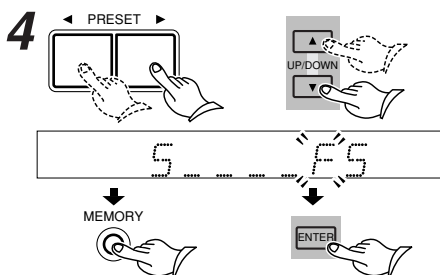
リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

タイマーボタン(TIMER)をくり返し押して"DAY　SET"表示を選び、メモリーボタン(MEMORY)または、リモコンのエンターボタン(ENTER)を押します。

2

プリセット◀／▶ボタン(PRESET)または、リモコンのアップ▲／ダウン▼ボタン(UP/DOWN)を押して"WEEKDAY"または"WEEKEND"を選び、メモリーボタンまたは、リモコンのエンターボタンを押します。

3

メモリーボタンまたは、リモコンのエンターボタンをくり返し押して、変更する曜日を点滅させます。左から、S：日曜日、M：月曜日、T：火曜日、W：水曜日、T：木曜日、F：金曜日、S：土曜日と表示させます。

- カーソルを左方向へもどしたいときは、チューニング▼ボタン(TUNING)を押してください。また、チューニング▲ボタンを押すと、右方向に移動します。

4

プリセット◀／▶ボタンまたは、リモコンのアップ▲／ダウン▼ボタンを押して設定を変更し、メモリーボタンまたは、リモコンのエンターボタンを押します。表示させた曜日にタイマーが動作します。

5

MEMORY　ENTER

右端の文字やカーソルが点滅しているときに本機のメモリーボタンまたは、リモコンのエンターボタンを押して終了させます。

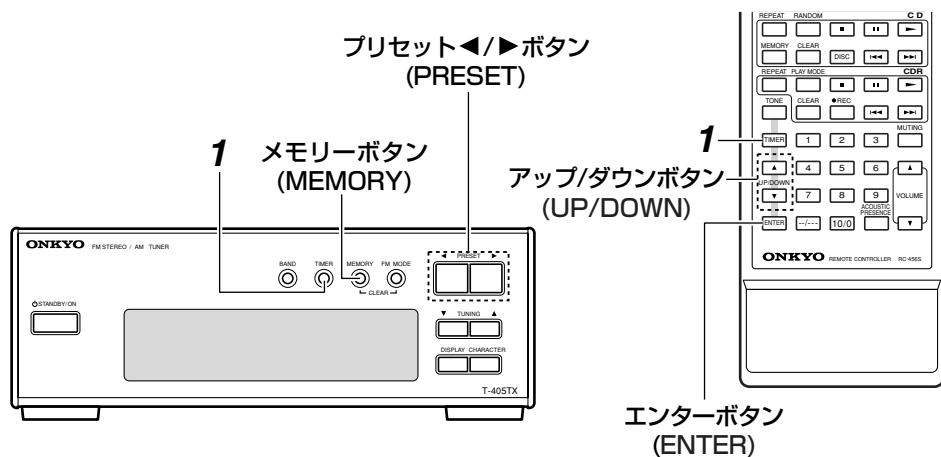
タイマー演奏と録音（システム操作）

■タイマー演奏をする

FM、AMのタイマー演奏やタイマー録音は放送局をプリセットしておいてください。
プリセットの方法は、「放送を聞く」（20～24ページ）をご覧ください。

- 時計を合わせていないとタイマーは働きません。必ず現在時刻を合わせてください。
- タイマー機能はA-905TX（アンプ）の主電源スイッチ（POWER）を入れたままでご使用ください。主電源スイッチを切るとタイマー機能は働きません。

ヒント

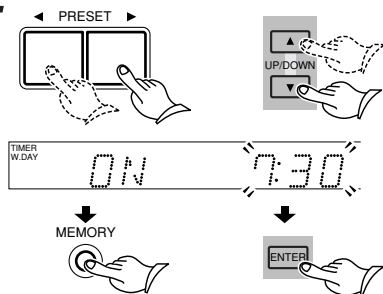
本機ではタイマー演奏のとき、プリセット◀／▶ボタン（PRESET）、チューニング▼／▲ボタン（TUNING）のどちらのボタンでも設定することができます。

システム接続している場合は、A-905TX(アンプ)の主電源スイッチ(POWER)が入っていることを確認してください。

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

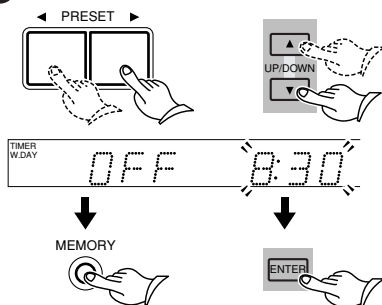
“WEEKDAY”または“WEEKEND”を選ぶ

タイマーボタン(TIMER)をくり返し押して“WEEKDAY”または“WEEKEND”を選びメモリーボタン(MEMORY)または、リモコンのエンターボタン(ENTER)を押します。

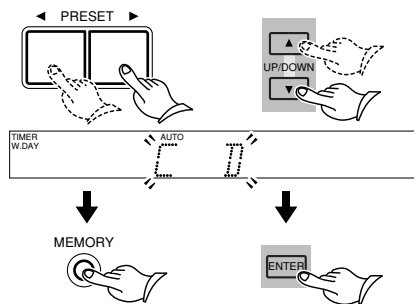
2

演奏開始時刻を設定する

プリセット◀／▶ボタン（PRESET）またはリモコンのアップ▲/ ダウン▼ボタン（UP/DOWN）で開始時刻（ON）を選び、メモリーボタンまたは、リモコンのエンターボタンを押します。

開始時刻（ON）を設定すると終了時刻（OFF）は自動的に1時間後の表示になります。

3

演奏終了時刻を設定する

プリセット◀／▶ボタンまたはリモコンのアップ▲/ダウン▼ボタンで終了時刻（OFF）を選び、メモリーボタンまたは、リモコンのエンターボタンを押します。

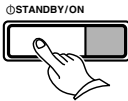
4

演奏するソースを選ぶ

プリセット◀／▶ボタンまたはリモコンのアップ▲/ダウン▼ボタンでFM、AM、CD、MD、TAPE、LINE/DVD、CDRのいずれかを選び、メモリーボタンまたはリモコンのエンターボタンを押します。

- アンプに接続されていないソースを選んだ場合、タイマー時刻になると電源が入り、入力が切り換わりますが、動作しません。
- FMまたはAMを選んだ場合は、再度プリセット◀／▶ボタンを押してプリセットナンバーを選び、メモリーボタンまたは、リモコンのエンターボタンを押します。

■タイマー演奏をする（つづき）

5

アンプの電源をスタンバイ状態にする

A-905TX(アンプ)の電源ボタン(STANDBY/ON)を押して、システムの電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

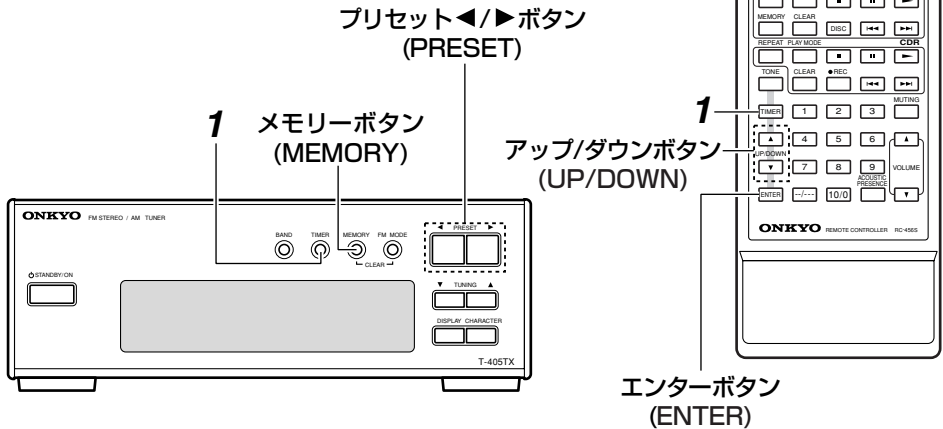
- 電源がスタンバイ状態以外のときには、タイマー時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させるときには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- A-905TX(アンプ)の主電源スイッチ(POWER)は入(▬ON)にしておいてください。

■タイマー録音をする

FM、AMのタイマー演奏やタイマー録音は放送局をプリセットしておいてください。
プリセットの方法は、「放送を聞く」（20〜24ページ）をご覧ください。

ご注意

- 時計を合わせていないとタイマーは働きません。必ず現在時刻を合わせてください。
- エブリディ録音（EVERYDAY）以外のタイマー録音の実行は、一度だけです。タイマー録音が終了すると予約は解除されます。
- タイマー機能はA-905TX（アンプ）の主電源スイッチ（POWER）を入れたままでご使用ください。主電源スイッチを切るとタイマー機能は働きません。

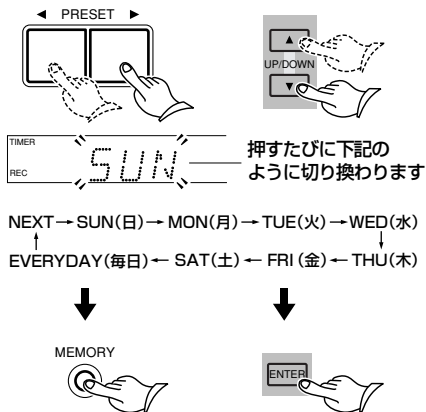
本機ではタイマー録音のとき、プリセット◀／▶ボタン（PRESET）、チューニング▼／▲ボタン（TUNING）のどちらのボタンでも設定することができます。

システム接続している場合は、A-905TX(アンプ)の主電源スイッチ(POWER)が入っていることを確認してください。

リモコンのボタンは　　で表示しています。

"REC"を選ぶ

タイマーボタン(TIMER)をくり返し押して"REC"表示を選び、メモリーボタン(MEMORY)または リモコンのエンターボタン(ENTER)を押します。

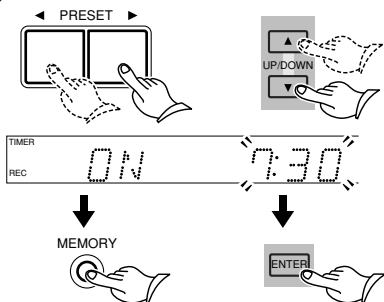
■タイマー録音をする（つづき）

2

曜日を設定する

プリセット◀／▶ボタン(PRESET)またはリモコンのアップ▲/ダウン▼ボタン(UP/DOWN)で、NEXT、曜日(日〜土)またはEVERYDAY(毎日)を選び、メモリーボタン(MEMORY)または、リモコンのエンターボタン(ENTER)を押します。

ヒント

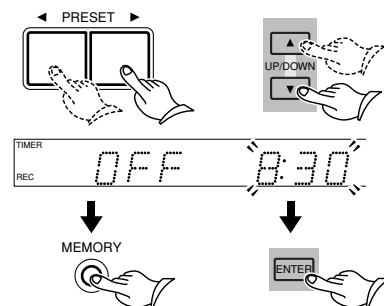
- "NEXT"を選ぶと曜日にかかわらず、設定した時刻がきたときにタイマーが働きます。
- "EVERYDAY"を選ぶと設定した時刻に毎日タイマー録音が始まります。（ラジオの英会話などを録音する場合に便利です。）

3

録音開始時刻を設定する

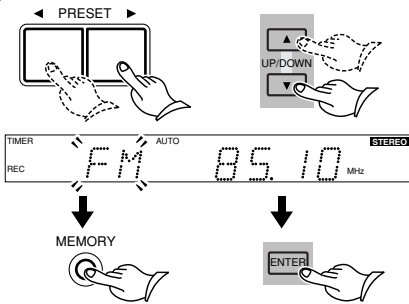
プリセット◀／▶ボタンまたはリモコンのアップ▲/ダウン▼ボタンで開始時刻（ON）を選び、メモリーボタンまたは、リモコンのエンターボタンを押します。

ヒント

開始時刻(ON)を設定すると終了時刻(OFF)は自動的に1時間後の表示になります。

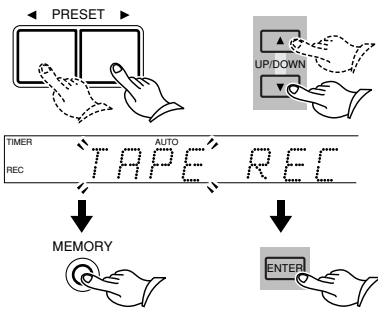
4

録音終了時刻を設定する

プリセット◀／▶ボタンまたはリモコンのアップ▲/ダウン▼ボタンで終了時刻（OFF）を選び、メモリーボタンまたは、リモコンのエンターボタンを押します。

5

録音するソースを選ぶ

プリセット◀／▶ボタンまたはリモコンのアップ▲/ダウン▼ボタンで“FM”または“AM”、“LINE/DVD”を選び、メモリーボタンまたは、リモコンのエンターボタンを押します。

- FMまたはAMを選んだ場合は、再度プリセット◀／▶ボタンを押してプリセットナンバーを選び、メモリーボタンまたはリモコンのエンターボタンを押します。

6

録音する機器を選ぶ

プリセット◀／▶ボタンまたはリモコンのアップ▲/ダウン▼ボタンで“MD REC”、“TAPE REC”、“MD/TAPE REC”のいずれかを選び、メモリーボタンまたは、リモコンのエンターボタンを押します。

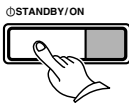
ご注意

MDレコーダーにチューナーなどをアナログ録音するときは、MDの録音入力の設定は必ずAnalogInにしてください。

7

アンプ

STANDBY/ON

TIMER
REC
9:38

アンプの電源をスタンバイ状態にする

A-905TX(アンプ)の電源ボタン(STANDBY/ON)を押して、システムの電源をスタンバイ状態にします。

- タイマー録音中はミューティングが働いています。録音中の音を確認したいときは、リモコンのミューティングボタン(MUTING)を押して、解除してください。

ご注意

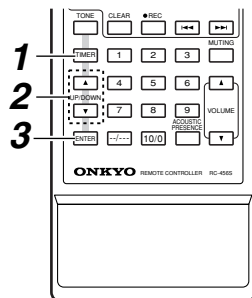
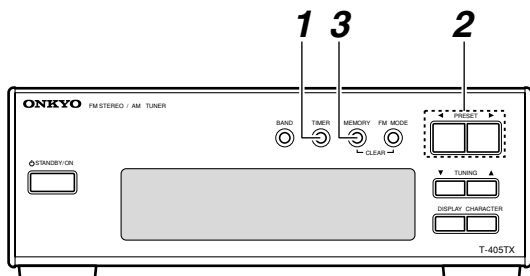
- 電源がスタンバイ状態以外のときには、タイマー時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させるときには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- A-905TX（アンプ）の主電源スイッチ（POWER）は入（▬ON）にしておいてください。

タイマー演奏と録音（システム操作）

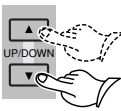
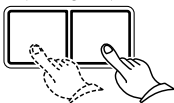
■タイマーのオン（実行）／オフ（取消し）を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、取り消したタイマーを再び実行させたいとき、またはタイマー録音を再び実行させたいときに使います。
- 時計の現在時刻が設定されていないとタイマーを動作させることはできません。
- タイマー機能はA-905TX（アンプ）の主電源スイッチ（POWER）を入れたままでご使用ください。主電源スイッチを切るとタイマー機能は働きません。

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

タイマーモードを表示させる

タイマーボタン(TIMER)をくり返し押して、希望のタイマーモード（WEEKDAY、WEEKEND、REC）を表示させます。

2

オン(実行)／オフ(取消し)を切り換える

プリセット◀／▶ボタン（PRESET）またはリモコンのアップ▲/ダウン▼ボタン(UP/DOWN)を押してオン(ON)/オフ(OFF)を切り換えます。

本機ではプリセット◀／▶ボタンの代りにチューニング▼/▲ボタン(TUNING)で設定することもできます。

ご注意

プリセット◀／▶ボタンまたはリモコンのアップ▲/ダウン▼ボタンを押さずにリモコンのエンターボタン(ENTER)を押すと、開始時刻などの設定モードになります。

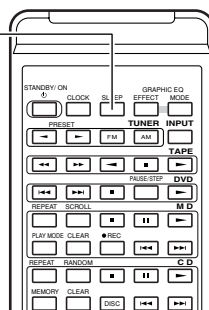
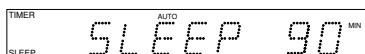
3

メモリーボタン(MEMORY)またはリモコンのエンターボタン(ENTER)を押す

タイマーがオンのときは、ディスプレイの左端にタイマーモード（W.DAY、W.END、REC）が表示されます。

■スリープタイマー

リモコンのみの操作です。

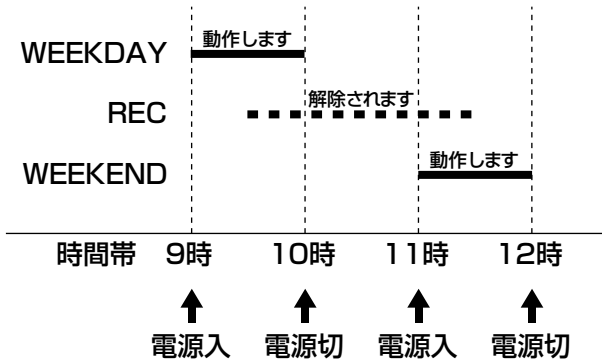
- 設定した時間がすぎると、自動的に電源が切れます。
- タイマー演奏中、タイマー録音中にスリープタイマーを動作させると、スリープタイマーの設定時刻で電源が切れます。

スリープ時間を設定する

スリープボタン（SLEEP）を押すたびに90分から10分単位で時間が短くなります。

残り時間を確かめるには

スリープ動作中にスリープボタンを押すと電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに、再びスリープボタンを押すとスリープは解除されます。

スリープタイマーを解除するには

スリープインジケーターが消えるまでスリープボタンを押すか、一度電源を切ってから再度電源を入れてください。

■タイマー動作が重なった場合

- タイマー演奏（WEEKDAY）などですでに電源が入っているときに、タイマー録音（REC）など別のタイマー設定の開始時刻になっても、そのタイマーは動作しません。電源は先に動作しているタイマーの終了時刻になったときに切れます。
- また、WEEKDAYのタイマー終了時刻とRECのタイマー開始時刻が同じ場合もRECタイマーは動作しません。WEEKDAYのタイマーの終了時刻からRECのタイマーの開始時刻は1分以上の間隔をとってください。
- WEEKDAY／WEEKEND／RECの2つ以上のタイマーが同じ時刻で設定されている場合、開始時刻で動作するタイマーの優先順位はWEEKDAY→WEEKEND→RECの順です。
- RECタイマーは、本機の電源が入っているなどで開始時刻が無効の場合、タイマー設定表示が消え予約を解除します。

現在時刻の表示

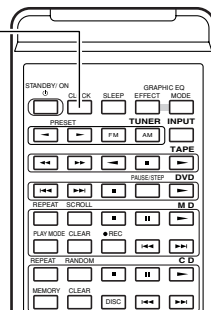
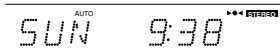
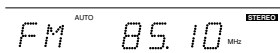
■現在時刻を表示させるには

INTEC205シリーズのA-905TXと組み合わせた場合、A-905TXに付属のリモコンを使って現在時刻を表示させることができます。

- 本機のディスプレイボタン(DISPLAY)でも操作することができます。(27ページをご覧ください。)

現在時刻を表示する

AUTO STEREO
FM 85.10 MHz

AUTO STEREO
SUN 9:38

クロックボタン(CLOCK)を押すと曜日と時刻が表示されます。

- 元の表示に戻す場合は、もう一度クロックボタンを押します。
- 時刻合わせがされていませんと“ADJUST”を点滅表示します。
  時刻合わせをしてください。
  (18、19ページをご覧ください。)

故障？と思ったら

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

表や他機の取扱説明書で点検しても正常に動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。その際に「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名T-405TX」と「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお知らせください。

症状	原因	処置
FMステレオ放送のとき、モノラル放送にくらべ「サー」というノイズが出る。	●FMステレオ電波はモノラル電波に比べ、変調のしかたが異なるので放送局の電波の強さによってはノイズが少し出る。	●アンプの音質調整ツマミで高音部を下げてみてください。 ●FMモード切り換えボタンを押してモノに切り換えてください。
モノラル放送、ステレオ放送ともノイズが多い。	●アンテナの設置場所や向きが不適当。 ●放送電波が弱い。	●室内アンテナなら屋外アンテナにしてください。 ●アンテナの設置場所、高さ、方向を変えてみてください。 ●素子数の多いアンテナに変えてみてください。 （アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。）
FMステレオ放送で"STEREO"表示が点滅し、完全に点灯しない。	●アンテナの向きが不適当。 ●放送電波が弱い。	
音がひずんだり小さくなったりする。	●電波の乱れ。 ●近くを自動車が走っていたり、飛行機が飛んでいる。	
FMステレオ放送でノイズが多く、ときどき音が出なくなる。	●アンテナの設置場所や向きが不適当。 ●放送電波が弱い。	
FMステレオ放送で音にひずみが多い。	●送信所からの電波(直接波)と近くのビルや山に反射した電波(反射波)との干渉によるマルチパスひずみが生じている。	
AM放送受信時、ノイズが入る。	●TVがすぐそばにあり、電源が入っている。	●AM室内アンテナをTVから離してください。 ●TVの電源を切ってください。
リモコンで操作できない。	●電池が消耗している。 ●リモコン受光部と距離がありすぎる、角度が悪い。 ●リモコン受光部との間に障害物がある。 ●システム接続が不完全。	●電池を交換してください。（A-905TX（アンプ）の取扱説明書参照） ●リモコンはリモコン受光部との距離が約5m以内、前面パネルとの角度が左右にそれぞれ30°以内で操作可能です。（15ページ参照） ●リモコンの操作位置を変えるか、障害物をとり除いて操作してください。 ●確実に接続してください。（12～13ページ参照）

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約5秒後に改めて電源プラグを入れてください。

主な仕様

	FM	AM
受信範囲：	76.00〜108.00MHz(50kHzステップ)	522〜1,629kHz(9kHzステップ)
感度：	IHF 1.2μV(12.8dBf)(75Ω) S/N 50dB 2.4μV(18.8dBf)(75Ω)	ANT端子20μV ループANT200μV/m
イメージ妨害比：	50dB（83MHz）	30dB（999kHz）
IF妨害比：	80dB（83MHz）	40dB（999kHz）
SN比(MONO)：	76dB	50dB（100mV/m）
(STEREO):	70dB	
2信号選択度：	50dB（400kHz）	
AM抑圧比：	50dB	
キャプチャレシオ：	1.0dB	
ひずみ率(1kHz)(MONO)：	0.5%	1.0%
(STEREO):	0.8%	
ステレオセパレーション：	1kHz 40dB 100Hz〜10kHz 30dB	
周波数特性：	20Hz〜15kHz(±1.5dB)	
キャリアリーク：	−65dB	
アンテナインピーダンス：	75Ω/300Ω	
出力電圧(1kHz)：	500mV（100%）	150mV （30%）
出力インピーダンス：	2.7kΩ	

その他

クロック精度：	月差 ±30秒（25℃）
電源：	AC 100V、50/60Hz
外形寸法(幅×高さ×奥行)：	205 × 76 × 280 mm
消費電力：	9W（電気用品安全法技術基準）
質量：	1.7kg

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名(T-405TX)」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： ＿＿＿＿年＿＿月＿＿日

ご購入店名： ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Tel.　　　（　　）

メモ：

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。
万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お客様ご相談窓口

カスタマーセンター　受付　9:30～17:30　(土日祝、弊社休日除く)

■カタログのご請求、製品についてのご相談

＊e-mail：customer@onkyo.co.jp　＊FAX：072-831-8124
＊TEL：ナビダイヤル0570-01-8111(全国どこからでも市内料金で通話いただけます)
　　　　または072-831-8111(携帯電話、PHSから)へどうぞ。
〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修 理 窓 口

修理のご依頼は取扱説明書の「故障？と思ったら」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

窓口	連絡先
札幌サービスステーション	TEL 011-747-6612　FAX 011-747-6619 〒001-0028　札幌市北区北28条西5-1-28　トーシン北28条ビル
仙台サービスステーション	TEL 022-297-0571　FAX 022-257-7330 〒984-0051　仙台市若林区新寺4-9-5　第二丸昌ビル 1F
宇都宮サービスステーション	TEL 028-634-4307　FAX 028-634-4308 〒320-0831　栃木県宇都宮市新町2-7-7
大宮サービスステーション	TEL 048-651-8612　FAX 048-651-9137 〒330-0034　埼玉県大宮市土呂町2-29-2　高安ビル 1F
東京サービスセンター	TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124 〒111-0054　東京都台東区鳥越1-2-3　ハマスエビル
八王子サービスステーション	TEL 0426-32-8030　FAX 0426-32-8040 〒192-0914　東京都八王子市片倉町358番地
横浜サービスステーション	TEL 045-322-9342　FAX 045-312-6603 〒220-0072　横浜市西区浅間町1-13　共益ビル5F
名古屋サービスステーション	TEL 052-772-1229　FAX 052-772-1331 〒465-0013　名古屋市名東区社口1丁目1001番
大阪サービスセンター	TEL 06-6576-7620　FAX 06-6576-7604 〒552-0013　大阪市港区福崎2丁目1番地49号
広島サービスステーション	TEL 082-262-3315　FAX 082-262-6571 〒732-0057　広島市東区二葉の里2-8-28
高松サービスステーション	TEL 087-868-5662　FAX 087-868-5672 〒760-0079　高松市松縄町44-8　西原ビル1F
福岡サービスステーション	TEL 092-418-1357　FAX 092-418-1358 〒812-0006　福岡市博多区上牟田3-8-19　みなみビル202

2001年3月現在　お客様相談窓口、修理窓口の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

F